

地方公共団体名： 東京都大島町

○提案内容

(1) 実現したい島のビジョン・方向性

大島町は、周囲を海に囲まれ風の強い地域で、その昔、防風林として植えた樺が、温暖で水はけの良い土壌との相性が良く、派生して樺で有名な島となった。樺の木は、薪燃料として使用し、島外へ販売していたが、燃料が化石燃料へ変化し、現在では、薪燃料の産業はなく、島内の電力だけでなく消費エネルギーのほぼ全量を島外から購入する化石燃料に依存している。

当町は、豪雨災害の被災地として、気候変動緩和策ための脱炭素化への取り組みを加速し、他自治体の規範となりその重要性を訴えなくてはならないため、町の前期基本計画期間中に避難所となる小中学校や公共施設を中心に太陽光発電設備や蓄電池設備を導入するなど、再生可能エネルギーの活用を図ってきたが、ライフラインである浄水場に活用できていない状況である。

今後は、風の強い特徴を生かし、洋上風力発電による都内随一の再生可能エネルギーについて、民間事業者等による再生可能エネルギー事業を支援し、島内消費エネルギーへの活用、さらに、再生可能エネルギーでの余剰電力を活用した水素等のエネルギー燃料を製造して、島外に販売するなど、新しい産業を形成したい。

さらに、再生可能エネルギーを活用し、島内交通にグリーンスローモビリティを導入するなど、来島者や高齢者が安心して移動できる交通体系の構築を図りたい。

については、島外での水素等のエネルギー燃料の需要の場の提供、島内で再生可能エネルギーを活用して水素等のエネルギー燃料を製造する企業等、島内で再生可能エネルギーを活用した安全性のあるグリーンスローモビリティの交通体系構築のための実証実験等を行う企業等のマッチングを希望したい。

(2) 新技術の導入により解決したい離島の課題 課題の分類

- ・島の化石燃料依存度抑制。
- ・ライフラインの防災力強化
- ・余剰電力の活用方法。またそれに伴う新たな産業
- ・高齢者や来島者が安全安心して移動できる交通体系の構築
- ・上記解決による関係人口の増加

下記のうち、該当するものを○で囲んでください。

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 物流
- 防災
- 観光
- 教育
- 健康・医療
- 環境
- 産業
- 担い手確保・人材育成
- その他

(3) 新技術の導入による課題解決の方向性(イメージでも可)

周囲を海に囲まれ風の強い地域の特徴を活かして、洋上風力発電による都内随一の再生可能エネルギーについて、民間事業者等による再生可能エネルギー事業を支援し、島内消費エネルギーへの活用、また、再生可能エネルギーでの余剰電力を活用した水素等のエネルギー燃料を製造して、島外に販売するなど新しい産業を形成したい。
さらに、再生可能エネルギーを活用し、島内交通にグリーンスローモビリティを導入するなど、来島者や高齢者が安心して移動できる交通体系の構築を図りたい。

(4) その他

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
政策推進課 振興企画係	川島 正憲	04992-2-1444	town-build@town.tokyo-oshima.lg.jp